

科目名		授業形態	担当教員名	
補聴器		講義・実習	田中 義之	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
45 時間（2 単位）		23 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
聴覚障害者(児)の補聴については、様々な機器の開発に伴い多様化している。また新しい技術の導入により補聴器も年々進化を遂げている。フィッティングについては、実年齢、発症年齢や使用環境等個々の多様なニーズに応じる必要がある。そこで多様なニーズに合わせた補聴器の選択、調整ができるよう基本的な知識及び技能の習得を図れるよう演習も含めた講義を行う。				
授業の到達目標				
基本的な補聴器の構造や調整法、評価について修得する。 補聴器の調整を模擬的に行い、その効果等について検討できる力の修得を目指す。				
授業計画				
回	内容			
1	聴覚障害者(児)の補聴について(概論)	16	補聴器調整の実際②～成人聴覚障害	
2	補聴器の種類・補聴援助システム①	17	補聴器調整の実際③～成人聴覚障害	
3	補聴器の種類・補聴援助システム②	18	補聴器調整の実際④～成人聴覚障害	
4	補聴器の構造①	19	補聴器調整の実際⑤～小児聴覚障害	
5	補聴器の構造②	20	補聴器調整の実際⑥～小児聴覚障害	
6	補聴器の適応①	21	補聴器調整の実際⑦～小児聴覚障害	
7	補聴器の適応②	22	補聴器調整の実際⑧～小児聴覚障害	
8	補聴器の基本的調整法①	23	まとめ	
9	補聴器の基本的調整法②			
10	補聴器の基本的調整法③～特性測定法			
11	補聴器の基本的調整法④～耳型			
12	補聴器の調整・適合・評価①			
13	補聴器の調整・適合・評価②			
14	補聴器の調整・適合・評価③			
15	補聴器調整の実際①～成人聴覚障害			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
補聴器のフィッティングと適用の考え方	小寺一興		診断と治療社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
よくわかる補聴器選び2018年版	関谷芳正		イエスメディアムック	
補聴器ハンドブック 原著第2版	Harvey D. 著 中川雅文 監訳		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				